

学生まちづくり甲子園に向けた 第1回ワークショップを開催 しました！

2017.11 月発行
長久手市経営企画課

2017年10月28日(土) 午前10時~12時
場所：保健センター3階会議室 参加18名



学生まちづくり甲子園とは？

「学生まちづくり甲子園」は、長久手市内に在住、あるいは在学している高校生、大学生を対象に“学生ならではの”視点で、長久手市の取組アイデアを考え、発表する全4回のプログラムです。10月、11月、12月に各1度ずつ集まり、様々な視点や角度で取組アイデアを考え、来年の2月に市民の皆さんへ発表・提案します。学生まちづくり甲子園で考えた「取組アイデア」は、市民まちづくりプランの中身として検討するとともに、参加者一人ひとりが、他校からの参加者とコミュニケーションをとれるよう、多くの交流時間を設けています。

当日の様子

学生まちづくり甲子園にむけた第1回ワークショップには、エントリーのあった6チームのうち、4チーム合わせて18名の参加がありました。最初に、他チーム参加者と交流しながら知り合い、その後、それぞれのチームごとに、今後取り組みアイデアを深めていく、まちづくりの「テーマ」を考えました。今後は、今回決めた「テーマ」をベースに、取り組みアイデアを考え、「学生ならではの」視点を大切に進めていきます！

プログラム

- 10:00 あいさつ・ガイダンス
- 10:20 ときほぐし(アイスブレイク)
- 10:45 相互インタビュー
- 10:55 ワークショップ
 - ①個人ワーク
 - 「10年後に残したい長久手の宝物」
 - ②グループワーク
 - 「発表テーマを決めよう！」
- 11:40 テーマ発表
- 11:50 おわりに
- 11:55 集合写真撮影

はじめに

長久手市のこれまでとこれから まちづくりって？

長久手市は平均年齢が若く、多くの商業施設もできて、活気に満ちています。しかし、遠くない将来には、長久手市でも人口減少や少子高齢化が進みます。そのような状況に対応するためには、今のうちから市民一人ひとりが「できること」「やりたいこと」を考え、みんなの力でまちづくりをすすめることが重要です。



アイスブレイク

- ① バースディチェーン → ② にがおえ名札づくり → ③ 「こんな私です」カード交流

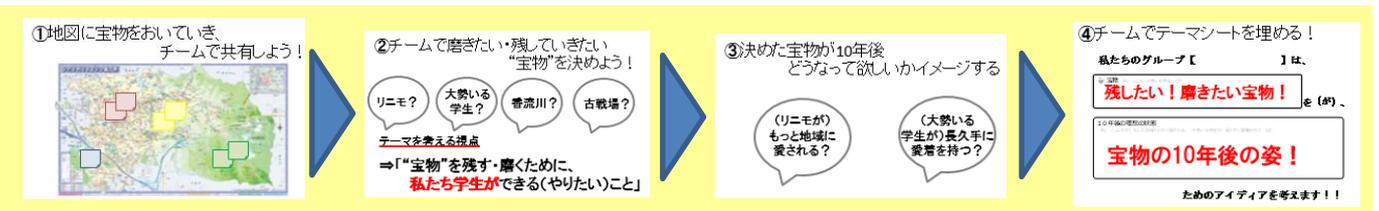
まずはみんなと知り合えるよう、バースディチェーンで1つの大きな輪に。隣同士で自己紹介後、お互いの名札に似顔絵を描きあい、世界に一つの名札をつくりました。その後、「こんな私ですカード」を使い、「今アツイこと」などについて参加者同士で交流しました。



グループワーク

まずは、個人ワークとして5つのテーマ（「ひと」「しぜん かんきょう」「くらし」「かんこう れきし ぶんか」「まち（インフラ）」）に沿って、長久手市の宝物を考えました。その後、チームで“宝物”を共有し、その宝物が10年後になってほしい姿を想像しながら、チームで取り組んでいくテーマを考えました。

グループワークのプロセス



各チームのテーマ

ちーむどなべ

宝物 長久手市の学生
10年後の理想の姿
学生から地域へつながりの輪を広げていく

栄徳高校ボランティア部

宝物 人と人とのつながり
10年後の理想の姿
ねんれいのかべ、見守りボランティア部の活動等



栄徳高校生徒会

宝物 自然（豊かな所）
10年後の理想の姿
若い人が魅力を広めていく

ながっぴーず

宝物 自然と人
10年後の理想の姿
自然を増やしつつ、それを利用して相手の事を考えられる優しい人をつくる



第2回は
11/25（土）
の開催です